

# 西東京市立上向台小学校 学校運営協議会

## 令和6年度学校経営方針について

令和6年5月2日（木）  
西東京市立上向台小学校  
校長 酒見 裕子



### 学校教育目標

人にやさしさ 自分につよさ 生き抜くかしこさ

### 目指す学校像

- 一人一人の**子供を主語にする**学校
- 学ぶ**ワクワク感**のある学校
- 健康・安全**に努める学校
- 子供・保護者・地域・教職員が連携・協働して**ともに**つくる学校
- 教職員が、安心して本務に力を注げ、協働できる学校

### 目指す教師像

- 一人一人の**子供のよさや可能性を見出す**教師
- 主体的な学びを支援する**伴走者**としての役割を果たす教師
- 学校をつくる**組織の一人**として協働できる教師
- 保護者や地域に**信頼される**教師



「一人一人の子供を主語」にする学校へ



### 目指す児童像

#### 人にやさしさ

人や社会との「**かかわり**」や「**つながり**」を大切にする思いやりのある児童



#### 自分につよさ

自ら心や体を鍛え、最後まで**やり抜く力**を備えた児童



#### 生き抜くかしこさ

自ら学習に向かい、自分に合った方法を選択しながら、**学びをデザイン**できる児童



<正解のない社会を生き抜いていくために>  
予測困難な時代において、よい変化を起こそうと、自分で課題を設定し振り返り、責任をもって行動する力の育成



### 今年度の重点

#### 令和の日本型学校教育 上向台小Verの推進

- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- 一人1台端末の文房具化による学びの質の向上（情報活用能力の向上）
- 子供の主体的な学びを支援する伴走者としての教師への転換

#### 学校・家庭・地域がともにある 学校づくりの推進

- 学校・家庭・地域が当事者意識をもった学校づくりへの参画
- カリキュラム・マネジメントの視点による地域の教育力や資源の活用
- PTA及び学校運営協議会との連携

#### 働き方改革の推進

- 学校の本質を捉えた業務内容の精選
- ICT環境を通じた校務の効率化
- 働き方改革へのマインドセット
- 教職員の心理的安全性の確保

# これまでと時代や産業構造が異なり、 求められる力が変わってきています！

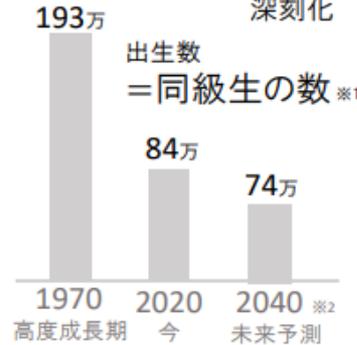
社会  
↓  
社会を支える  
教育・人材育成システム

これまで

**工業化社会 大量生産・大量消費**  
巨大化する**都市環境** 指数関数的な**人口増**  
**経済成長**  
**新卒一括採用・年功序列**



人口減少・少子化の深刻化



世界トップレベルの教育システム

~~同調圧力~~  
~~正解主義~~  
価値創造やイノベーション創出の最大の敵

一人一台端末  
オンライン環境の整備  
コロナで進んだデジタル化



今、これから

新たな**価値創造** **イノベーション**  
**SDGs** **Society 5.0**  
一人ひとりの**多様な幸せ well-being** **DX**  
**地球規模課題** **多様性** **安全・安心**  
**AI** **人材の流動化** **総合知**



**同質性・均質性**  
**一律一様の教育・人材育成**

**一斉授業** **形式的平等主義**

みんな一緒に みんな同じペースで みんな同じことを



**測りやすい力**  
重視

限られた時間で  
自らの記憶や思考  
だけを頼りに  
素早く正確に解く  
力を評価

**自前主義**

学校種、学校、  
学年、学級、教  
科などの縦割り  
構造に基づく  
教育の提供

社会的・文化的  
**バイアス**

学びや進路の  
選択を制約する  
バイアスの存在  
(女子の文理選択、  
直線的な進学だけが  
選択肢)

**多様性を重視した教育・人材育成**

**個別最適な学び**

**協働的な学び**

それぞれのペースで自分の学びを 対話を通じた「納得解」の形成



**探究力重視**

自ら学びを調整し、  
社会に生きる学び  
や試行錯誤しながら、  
自ら課題を設定  
し課題に立ち向かう  
「探究力」を評価

社会とシームレスな  
**協働体制**

社会や専門的な  
力を入れて、  
一人ひとりの特性  
を重視して、その  
力をさらに伸ばす  
体制

**子供の主体性**

大人の成功体験  
や経験にとらわれ  
ず、子供の好奇心  
や個人の興味・関  
心に応じた学びや  
進路選択の実現

Society 5.0の実現のために、学校教育には、次代を切り拓くイノベーションの源泉である創造性と「多様性」「公正や個人の尊厳」「多様な幸せ(well-being)」の価値が両立する「持続可能な社会の創り手」を育むことが求められている

# 教室には多様な子どもが集まっています

## 発達障害の可能性のある子供 (学習面or行動面で著しい困難を示す)

- ・ADHD(注意欠如多動性障害)  
いつもそわそわして、じっと座ってられない。いろいろなものに気が散り、授業に集中できない。
- ・LD(学習障害、読字障害)  
文字が流暢に読めなかったり、板書に時間がかかったりして、授業の進度に合わせられない。
- ・ASD(自閉症スペクトラム)  
学習活動の見通しが持てないと不安になる。暗黙のルールがわからず、突然発言してしまう。

発達障害※1  
2.7人  
(7.7%)

## 特異な才能のある子供

授業が暇で苦痛。価値観や感じ方の共感も得られなくて孤独。発言すると授業の雰囲気壊してしまう。

小3から中学数学、小5で数ⅡBをやっていた。  
4歳のころ進化論を理解して、8歳で量子力学や相対性理論を理解していた。

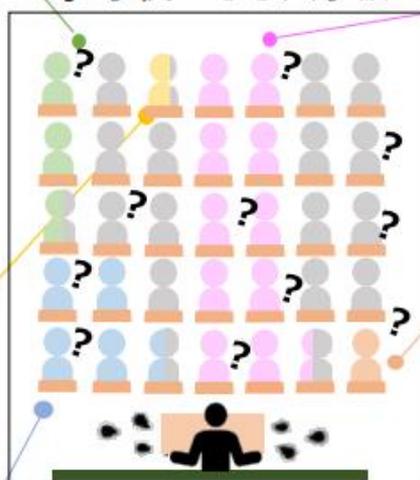
特異な才能のある子供※2  
0.8人  
(2.3%)

## 不登校・不登校傾向の子供

不登校※3  
0.4人  
(1.0%)

不登校傾向※4  
4.1人  
(11.8%)

小学校 35人学級



※例示している特性が複合しているケースも多い。  
※特性として示している子供についても、状況にはグラデーションがあり、様々であること。  
※このほかにも、学校には、病気療養で学校に通えない子供やいわゆるヤングケアラー等、多様な背景や困難を抱える子供が存在している

家にある本が少ない子供※5  
10.4人  
(29.8%)

## 家庭の文化資本の違い

家にある本の冊数が少なく  
学力の低い傾向が見られる子供

※家にある本の冊数と正答率の間には相関  
家に本が10冊又は25冊と答えた割合



家で日本語をあまり話さない子供※5  
1.0人  
(2.9%)

## 家で日本語を話す頻度の違い

家で日本語を「いつも話している」子供と「全く話さない」子供の間には、正答率に差が見られる  
※家で日本語を「全く話さない」「ときどき話す」と答えた割合

## 子供たちの特性や関心・意欲は様々

話すこと・聞くこと  
書くこと・読むこと  
が得意な子供

文字情報・  
音映像などの情報の扱  
いが得意な子供

音やダンスで  
表現することが  
得意な子供

特定の分野に極めて  
高い集中力を  
示す子供

興味や関心が  
拡散しやすい子供

特定の分野などに  
関心・意欲や知的好奇心  
が旺盛な子供

# 今までは……

## みんな一緒に 同じことを 同じ方法で

じっとしているのが  
苦手だな……

簡単すぎて  
退屈で苦痛だな。

全くわからない。  
寝よう。

授業について  
いけない……

文字が  
読みづらいな……

# これからは……



「自分のペースで自分で学ぶ」

「学び合って、助け合って、共に学ぶ」

新たな  
価値創造



イノベーション  
創出

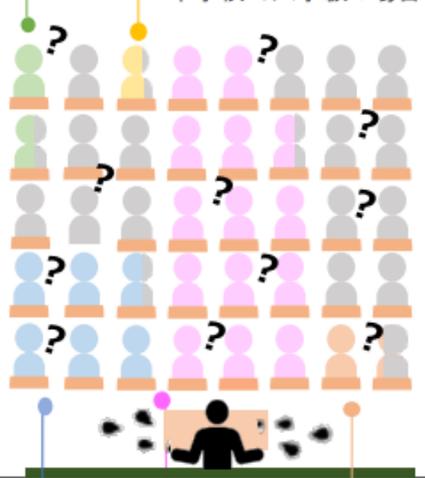
すべての子供たちの可能性を最大限引き出すことを目指し、子供の認知の特性を踏まえ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「そろえる」教育から「伸ばす」教育へ転換し、子供一人ひとりの多様な幸せ(well-being)を実現するとともに、一つの学校がすべての分野・機能を担う構造から、協働する体制を構築し、デジタル技術も最大限活用しながら、社会や民間の専門性やリソースを活用する組織(教育DX)への転換を目指す。これを実現するためには、皆同じことを一斉にやり、皆と同じことができることを評価してきたこれまでの教育に対する社会全体の価値観を変えていくことも必要となる。

子供たちが多様化する中で紙ベースの一斉授業は限界

発達障害の可能性のある子供

特異な才能のある子供

中学校40人学級の場合



不登校  
不登校傾向

日本語を家で  
あまり話さない子供

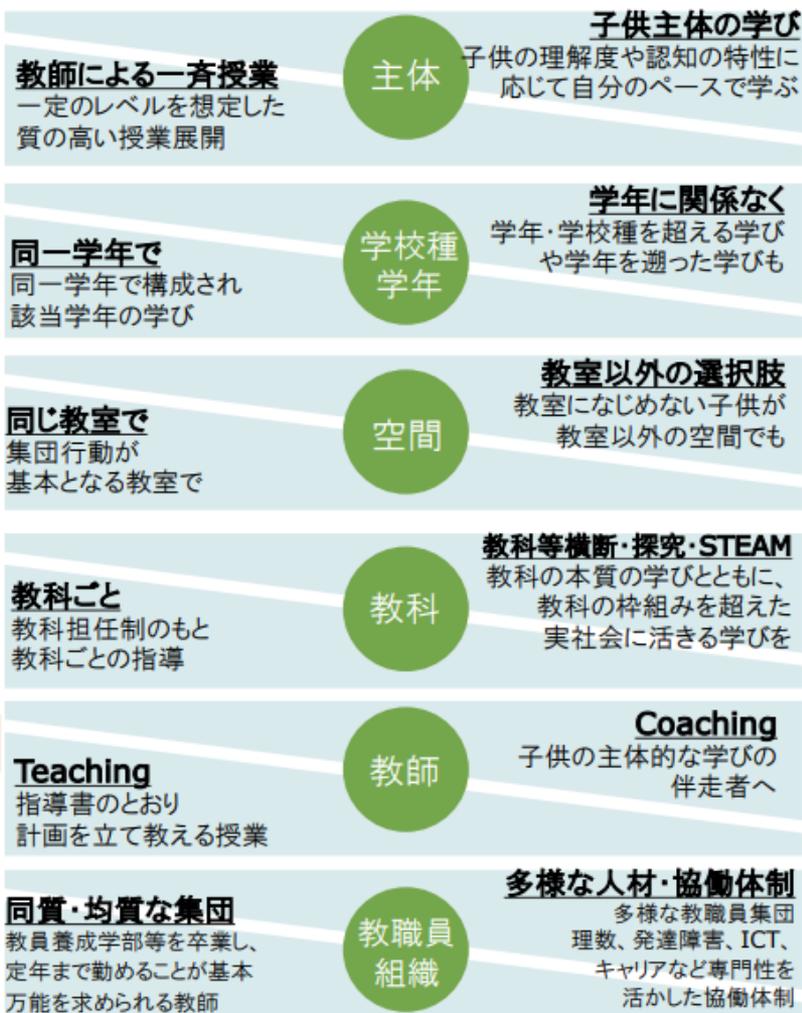
家にある本の冊数が少なく  
学力の低い傾向が見られる子供

※語彙や読解力の低下は重要な教育課題

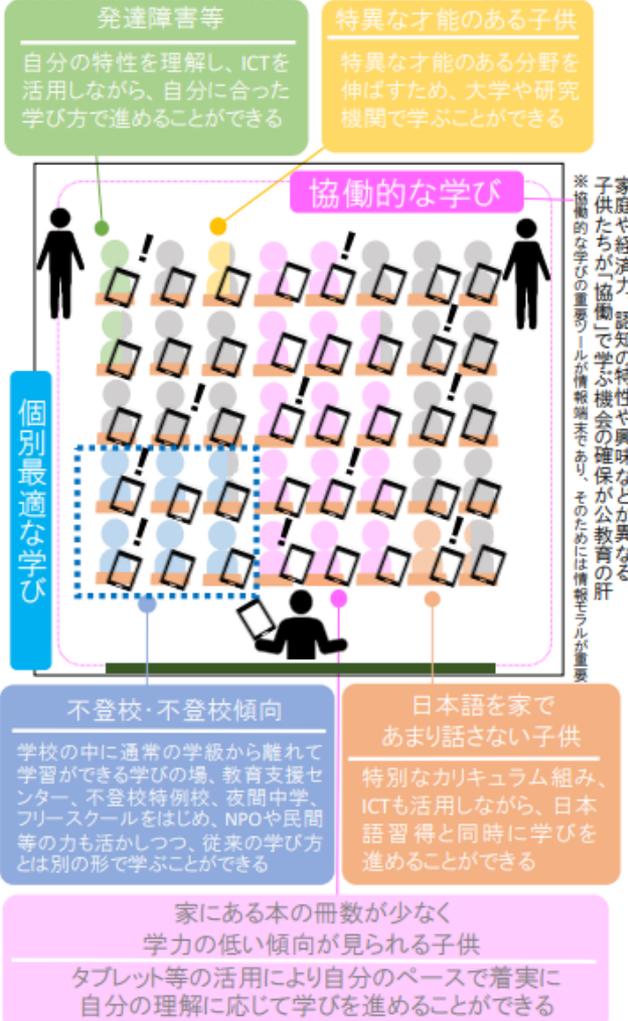
※子供の数の考え方・定義等については、スライド10の  
出典と同様。

※限られたリソースの中、個別最適な学び・協働的な学  
びを追求している学校や教師も沢山いるが、現リソ  
スでは一般的に限界があることを想定して図式化

2017年改訂により資質・能力重視の教育課程へと転換



多様な子供たちに対してICTも活用し  
個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実



※家庭や経済力、認知の特性や興味などが異なる  
子供たちが「協働」で学ぶ機会確保が公教育の肝  
協働的な学びの重要ルールが情報端末であり、そのためには情報モラルが重要

# 今年度の重点に関する取組

## 令和の日本型学校教育 上向台小Verの推進

### ① 東京都教育委員会 デジタルを活用したこれからの学び研究校【新規】 NEW

予測困難な時代において、よい変化を起こそうと、自分で課題を設定し振り返り、責任をもって行動できる力を育成するための各教科等における授業デザインを考えます。

子ども自ら学び方を選択し、自立した学習者になることを目指した単元づくりについて研究を進めます。 <予算措置あり>

### ② 東京都教育委員会 小学校教科担任制等推進校【新規】 NEW

専門性の高い教科指導や複数の教員による多面的・多角的な児童理解を行うために、中学校体育の専科教員を加配し、小学校高学年における教科担任制を推進します。

各教科が教科を分担して授業を行うことで、授業準備の効率化や組織的な生活指導など、教員の負担軽減を図り、教育の質の向上を図ります。 <加配教員あり>

### ③ 東京都教育委員会 校内別室指導支援員配置事業実施校【新規】 NEW

校内別室指導支援員を配置し、不登校及び不登校傾向の児童に対して、校内の別室（旧ランチルーム）にて、学習指導や相談対応等を実施します。 <加配職員あり>

## 令和の日本型学校教育 上向台小Verの推進

NEW

### ④ あゆみの2期制の導入（発行回数を年間3回から2回へ）【新規】

- 1 あゆみの配布は、**9月末、3月末の年間2回**とします。
- 2 4月から7月までの学校生活の様子については、**個人面談を7月に実施**し、ペーパーテストの結果だけでなく、ノートやワークシート、作品、実技・実演等の記録を用いて、具体的にお伝えします。
- 3 **全体の所見**は、**9月末、3月末ともに文章で記述**します。道徳、外国語活動、総合的な学習の時間の評価は、前期又は後期のどちらかに、今まで同様、文章で記述します。

#### <メリット>

- 1 1学期末・2学期末に、ゆとりある教育を提供できます。
- 2 各教科等のまとめの時間を、これまで以上に確保できます。
- 3 よりきめ細やかな評価と指導に繋げることができます。



# 今年度の重点に関する取組

学校・家庭・地域がともにある学校づくりの推進

NEW

## ① 西東京市教育委員会 すぐーるによる配布物のデジタル化【新規】

学校で作成した文書についてはデジタル化し、保護者の皆様にすぐーるを用いて確実に届くようにします。

## ② 登下校時の安全対策【継続】

保護者や上向台サルビア、民生委員・児童委員、ボランティアセンターなどと連携・協力を図りながら、登下校時の見守りを行っています。

南門の自転車道路の見守りについて、ぜひ保護者の皆様も御協力ください。

## ③ 西東京ふるさと探究学習の推進【継続】

各教科や総合的な学習の時間等において、カリキュラム・マネジメントの視点から、地域の人、もの、ことを効果的に活用した多様な他者と協働し、課題解決できるような単元や授業を構想します。

# 今年度の重点に関する取組

## 働き方改革の推進

### ① 専門スタッフの配置【拡充】

学年教育アシスタント（2名）や校内別室指導支援員など、専門スタッフを拡充して、子どもたちの対応に当たります。

SCやSSW、ICT支援員、副校長補佐、スクール・サポート・スタッフ、特別支援教室専門員等も継続して配置しています。

### ② 夜間・休日、学校閉庁日の電話対応【継続】

西東京市では、平日は午後6時30分から、翌朝の午前8時まで、週休日や学校閉庁日は終日、電話を留守番電話に切り替える対応を行っています。

電話が繋がらない場合は、翌日以降の午前8時から午後6時30分までに連絡をお願いします。

また、緊急対応を要する場合は、役所や警察、消防など、専門機関への御連絡をお願いします。

<教員の1日のスケジュールの例（小学校）>

7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
時間外	勤務時間（8:15～16:45）										時間外	
授業準備	登校指導・朝学活・朝学習	一時間目	二時間目	児童指導（中休み）	三時間目	四時間目	給食指導・清掃指導 ・児童指導（昼休み）	五時間目	六時間目	終学活・下校指導	休憩時間	
											<ul style="list-style-type: none"><li>○授業準備・教材研究</li><li>○提出物の返却準備</li><li>○成績評価</li><li>○行事の準備</li><li>○保護者の相談対応</li><li>○個別の打合せ</li><li>○学年・学級運営の事務 等</li></ul> <p>※中学校等の場合には、部活動指導にも従事</p>	

①先生に教えてもらっただけでなく、  
自分から進んで学ぼう！



「これ何だろう？」 「もっと知りたいな！」  
と思ったら、積極的に調べてみましょう。

# ②自分に合った**学習の進め方**や **学び方**を見つけよう！！

◆一人一人 得意なことや苦手なことは違う



学習の仕方が違うことは当たり前

# 学ぶワクワク感のある学校へ！





今年度もどうぞよろしくお願いいたします